



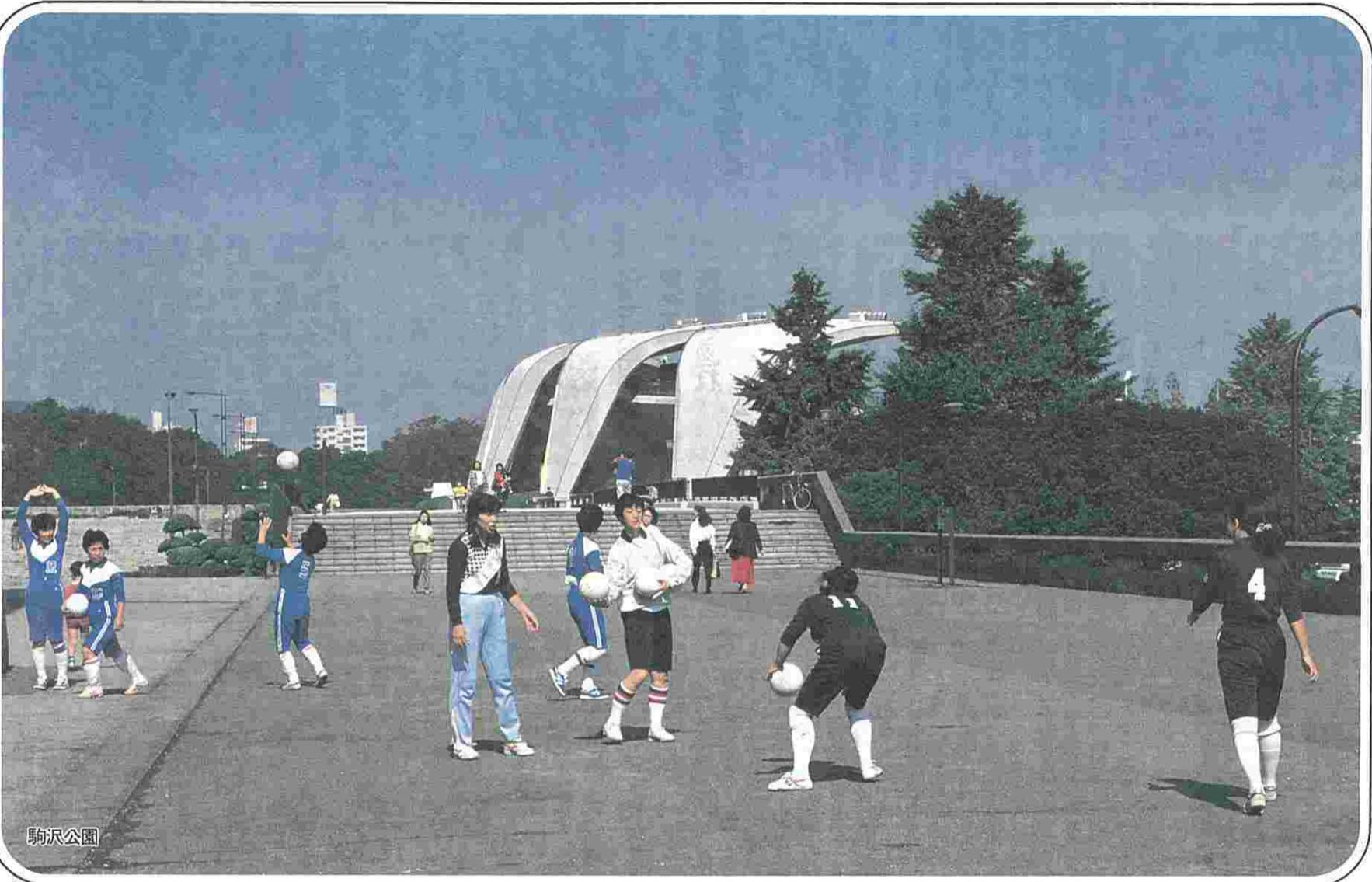
せたがや 区議会だより

No. 126

本号の概要

1面/議決内容 請願 4面/請願 要望書
 2面/代表質問 続・せたがやの
 3面/一般質問 民話と伝説

この区議会だよりは再生紙を使用しています



駒沢公園

高齢者借り上げ集合住宅条例などを可決

今号では、平成2年第3回定例会での審議内容などを紹介します。今回の定例会は、9月17日から25日までの9日間の会期で開かれました。

議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から22の案件が提出されました。

●2年度各会計補正予算 3件(全員賛成)

- 一般会計補正予算(第一次)
都市計画道路や公園、児童遊園地の買収、街づくり事業用地の取得、小田急線連続立体交差化推進のための東京鉄道立休整備株式会社への出資金、高齢者住宅サービスセンターの建設、特別養護老人ホーム用地の買収、保育園の延長保育の実施などの予算を追加した。補正額は、二〇七億五九一七九千円、補正後の予算額は、二〇三億八八七九千円。
- 老人保健医療会計補正予算(第一次)
補正額は、三二七万三千円、補正後の予算額は、三五〇億五九〇六万七千円。
- 中学校給食費会計補正予算(第一次)
補正額は、三四五万五千円、補正後の予算額は、七億八三万七千円。

●工事請負契約の締結 4件(全員賛成)

- 玉堤小学校体育館・プール増改築工事
契約金額一億七億六二〇万円 工期4年2月28日 工事概要「鉄筋コンクリート造4階建(体育室、ステレンス製プールなど)」
- 池尻中学校体育館・プール増改築工事
契約金額九億七千六四四万円 工期4年2月21日 工事概要「鉄筋コンクリート造4階建(体育室、ステレンス製プール、音楽室、パソコンルームなど)」
- 鳥山川緑道整備第4期工事

契約金額一億一五八七万五千円 工期3年2月28日 工事概要「植栽地造成、ブロック舗装など」

工事箇所「三宿1丁目26、28、2丁目28」

●工事請負契約の変更 2件(全員賛成)

○区役所第2庁舎改修工事

変更前	変更後
契約金額 二億六九二万七千円(二億〇〇八万九千円)	二億六九二万七千円(二億〇〇八万九千円)
工期 2年10月31日	3年2月28日

○区役所第2庁舎改修機械設備工事

変更前	変更後
契約金額 四億九千九百四十四万四千二百円	四億九千九百四十四万二千二百円
工期 2年10月31日	3年2月28日

●条例の新設 2件(全員賛成)

- 高齢者借り上げ集合住宅条例
住宅に困窮するひとり暮らしの高齢者の生活の安定と福祉の増進を図るため、桜丘高齢者借り上げ集合住宅(桜丘2丁目15-18)を設置した。
- 高齢者借り上げ専用住宅条例
住宅に困窮するひとり暮らしの高齢者に一時的に住宅を提供する。福寿荘(上野毛4丁目14-7)、慶幸荘(八幡山3丁目18-19)、松寿荘(桜上水3丁目18-13)を条例で規定した。

●条例の一部改正 6件(全員賛成)

- 電子計算組織運営条例
他の公共団体などとの電算機の回線結合の禁止を一部解除したことなど。
- 出張所設置条例
第1出張所が、池尻3丁目27-21に移転した。
- 区民会館条例
北沢区民会館(北沢2丁目8-18)を新設した。

- 水防・応急措置従事者の損害補償条例
補償基礎額を引き上げたことなど。
- 心身障害者福祉手当条例
手当額を五〇〇円引き上げた。
- 老人福祉手当条例
手当額を千円二千円引き上げた。

- 財産の取得 1件(全員賛成)
○中学校教育用パーソナルコンピュータ購入金額一億八千四百八十八万円

- 財産の処分 1件
(賛成多数 賛成「自、公、社、共、民、無ク」、
生活ク 反対「行革」)
- 仮称北沢タウンホールの一部
仮称北沢タウンホールは、小田急バス株式会社との区分所有建物であるため、建設費相当額で売り払う。
- 売り払い金額は、五億二六七十七万円。

- 区道路線の認定 3件(全員賛成)
- | 所在地 | 延長(米) |
|-------------|--------|
| 東玉川2丁目1-2 | 一九三・八七 |
| 費用 2丁目23-26 | 一四三・三九 |
| 上北沢5丁目35 | 九六・八七 |

- 議員の辞職(全員賛成)
○森田キミ議員(社会)
9月17日辞職願が提出され、許可された。

請願

- 審議が終了したもの
皆さんから出された請願の審議経過などをお知らせします。
- 採択 1件
○大型店の規制緩和に反対する請願
「「願意に沿うよう努力する」との意見が付けられた。

- 取下承認 4件
○パチンコ店設置中止に関する陳情(三軒茶屋1丁目35)
- 国立大蔵病院の廃止・縮小に反対し総合病院として整備・拡充を求める意見書提出に関する請願
- 東映社宅跡地の買収と街づくり推進地区指定に関する請願(三宿1丁目地区)
- 佼成学園校舎移転建築計画に関する陳情(給田2丁目1)

代表質問

初日の本会議で、5人の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その要旨をお伝えします。



都市基盤の骨格となる道路整備に全力をあげよ

——自由民主党——

質問 21世紀を展望した安全で快適な都市づくりが急務だ。まちづくりの基盤となる道路整備に全力を注ぎ、道路整備方針に基づき事業を積極的に促進するとともに、都市計画道路の整備を都へ強力に働きかけよう。
区長 助役 重点事業として、積極的に整備していく。早期事業化を要請している。
質問 小田急線の開かずの踏切の解消は、区民の切実な願いだ。新宿副都心への輸送力増強を念頭に、地下式も含め東北沢一梅ヶ丘間の構造形式を早急に検討せよ。第3セクターの設立を機に立体化の早期実現を図り、沿線地域のまちづくりを積極的に推進せよ。

区長 都や鉄道事業者と連携し、実現性のある構造形式を調査していく。地域の将来展望をふまえ、まちづくりを進めたい。
質問 高齢化社会が進むなか、ふれあい公社や社会福祉協議会と連携し、在宅福祉の

充実を急げ。拠点となる在宅サービスセンターの増設に取り組み。公有地の有効活用を図り、高齢者施設を整備せよ。
助役 役割分担を明確にし、多様なサービスを提供していきたい。社会福祉協議会の協力を得て整備していく。施設の複合化などにより、増設に努める。
質問 後期実施計画を効果あるものとするため、的確な財政見直しのもと、財源の確保に万全を期せ。効率的な行政運営を推進し、職員定数の抑制にも努めよ。
区長 助役 中・長期的展望にたち、財源の確保に努める。現行定数の範囲内で対応していきたい。



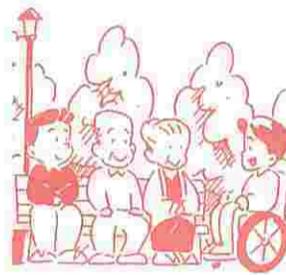
住宅供給の促進に向けた総合的な施策の展開を図れ

——公明党——

質問 良好な住環境の整備が急務の課題だ。住宅整備方針の策定を急ぎ、住宅供給を促進せよ。家賃補助制度の創設や、都営住宅の移管促進による戸数の拡大にも積極的に取り組め。
区長 助役 民間住宅の借り上げなど、様々な手法を講じていく。家賃の適正化を図りたい。都との協議を進めていく。
質問 高齢者施策の推進に全庁をあげて取り組め。特別養護老人ホームの建設、在宅介護サービスの充実を力をつけ、痴呆症対策も拡充せよ。

助役 高齢化対策室長 衛生部長 特養ホームの整備を促進するとともに、支援を強化していく。相談事業の充実を努めていく。
質問 深刻なゴミ問題の解決には、ゴミの減量が不可欠だ。ノーマル包装を設けるなど、過剰包装の抑制策を講じよ。リサイクルシステムの確立や分別収集体制の整備にも力を注ぎ。
助役 過剰包装の自粛を働きかけていく。担当組織を設け、リサイクル事業を進める。
質問 学校改革は、各学校の個性を尊重し

て進めよ。地域住民も利用できるよう、温水プールの設置など体育館を整備せよ。
教育長 地域特性を生かした施設づくりを努めたい。検討していきたい。
質問 環8新交通システムの導入を急げ。駐車場も整備せよ。小田急線立体化の早期実現に向けた第3セクターへの出資は妥当だ。住民合意による事業の促進を要請する。
区長 助役 関係区と協力し、実現に努力していく。早期に整備方針を策定したい。



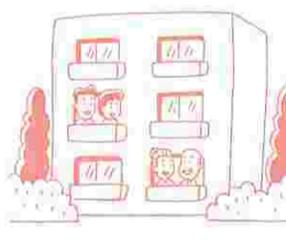
公的責任による福祉施策の一層の推進を

——日本社会党——

質問 だれもが安心して暮らせる福祉社会の実現には、公的責任を明確にし、福祉水準の向上を図っていくことが大切だ。福祉施策の体系化に向け、基本条例を制定せよ。福祉を担う人材の確保、育成も重要な課題だ。労働条件の整備や介護支援体制の強化、研修の充実などに積極的に取り組め。また、福祉行政の推進にあたっては、プライバシーの保護に十分配慮せよ。
区長 助役 だれもが地域の中で共に生活していけるよう、在宅福祉と施設の充実を努めていく。条例化は、検討してみたい。有資格者の活用など、様々な方策を考えていく。

質問 遅れている精神保健行政の推進が急務だ。精神障害者の社会復帰を促す施設を建設するとともに、民間施設への支援を強化せよ。不足している入所施設の増設など、住居の確保に力を注ぎ、就労機会の拡大にも努めよ。
助役 共同作業所の実現と助成の拡大に努めていく。都営住宅に入居できるよう、都に働きかけていく。施設の新設も検討してみたい。職親制度を積極的にPRしていく。
質問 子どもの人権を保障する「子どもの権利条約」の批准を国に強く働きかけよ。
教育長 今後とも、子どもの健やかな成長

を促すよう、努めていく。
質問 第3セクターによる小田急線高架化計画は、地下式を強く望む沿線住民の意向を無視したものだ。区の出資を再検討せよ。
区長 立体化の早期実現、沿線地域のまちづくりの進展が図られるよう、努めたい。



住宅供給の拡大に向けた積極的な施策を展開せよ

——日本共産党——

質問 深刻な住宅問題に対応した積極的な供給策が急務だ。家賃や建設費の補助を行うとともに、公営住宅の大量建設、住宅事業への助成拡大を国や都へ強力に働きかけよ。良好な住環境を守るため、悪質な建築違反には厳正に対処せよ。クーラー騒音による紛争防止に向け、設置基準を設けよ。
区長 助役 建築部長 借り上げ住宅の供給拡大を図っていく。区長会などを通じ、要望したい。関係機関と協力し、是正に努める。指導していきたい。
質問 小田急線の高架化は、周辺環境の悪化を招き、まちづくりへの影響も懸念される。第3セクターへの出資をやめ、地下式での立体化を推進せよ。
区長 早期事業化に取り組むたい。環境などへの配慮は強く求めていく。
質問 精神薄弱児の卒後対策の充実が急務だ。民営福祉作業所への援助拡大、授産施設の増設に力を注ぎ、地域医療を守るため、大蔵病院の存続に取り組むことを要請する。
助役 福祉部長 障害者施設の整備計画のなかで、検討していく。区立福祉作業所の早期建設に努める。

質問 文化、教育活動の推進に向け、地域ごとに社会教育課の分室を設置せよ。
教育長 検討していきたい。
質問 都区制度改革についての地方制度調査会の答申案は、特別区の普通地方公共団体としての位置づけを見送るなど、大きな問題がある。区長の見解を示せ。

区長 自治権の確立に向け、今後とも、積極的に取り組んでいく。



高齢者や障害者への住宅供給を強力に促進せよ

——民社党・無所属クラブ——

質問 地価高騰などによる住宅問題が深刻となるなか、高齢者や障害者への住宅対策の充実が緊急の課題だ。民間に建設費を助成するなど、低廉な住宅の供給策を講じよ。公共住宅、公営施設への福祉住宅の併設や、借り上げ住宅の拡大にも努めよ。
助役 家賃の低額化に向け、建設費の融資斡旋などを検討したい。公共住宅の建て替



羽根木公園

えなどの機会に、確保を要請していきたい。
質問 重度障害者施策の拡充が重要だ。介護制度の充実に向け、学生ボランティアの協力を得るなど、介護人の確保に力を注ぎ。作業所などを併設した入所施設を各地域に設置せよ。養護学校卒業後の受け入れ施設の整備にも万全を期せ。
区長 助役 障害者が住み慣れた地域で暮らせるよう、様々な方策を検討したい。
質問 区民健康村が区民の第2のふるさととして親しまれるには、区民と川場村民とのふれあいを深めることが大切だ。区内の朝市で村の野菜を販売するなど、積極的に交流事業を展開せよ。
区長 交流の拡大や地場産品の活用など、新たな事業を検討していく。
質問 情報公開制度が適正に運用されるには、個人情報保護が不可欠だ。プライバシー保護条例の制定を急げ。また、小田急線の立体化の早期実現に向けた第3セクターへの出資は妥当と考える。下北沢駅周辺は、地元の意向を反映した構造形式とするよう要望する。
助役 条例の早期策定に向け、検討を進めている。

一般質問

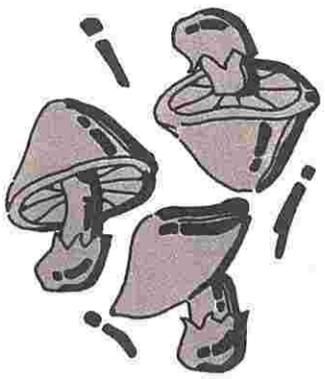
2日目の本会議では、11人の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その要旨をお伝えします。



個人情報保護条例の制定を急げ

社会 個人情報保護条例の早期制定に積極的に取り組む。策定にあたっては、区民参加のもと、十分な審議を尽くせ。自己情報に対する異議、訂正の権利も保障せよ。国勢調査では、調査票の密封提出を徹底し、プライバシーの保護に万全を期せよ。

助役 区民部長 区民や学識経験者などで構成する懇談会で論議し、早期条例化に努める。調査員に対し、守秘義務の徹底を図るなど、十分配慮していく。
自民 国際化への対応を区政の重要課題と位置づけ、諸外国との相互理解を深める国際交流事業を一層推進せよ。在住外国人の生活利便の向上にむけ、きめ細かな施策を展開せよ。また、海外の先進都市を参考に、道路や下水道など、遅れている都市基盤の整備を促進するよう、強く要望する。
区長 国際平和交流基金をもとに、幅広く事業を展開していきたい。今後とも、外国



語による広報紙や資料の発行など、情報の提供に努めていく。



区民施設の充実に全力をあげよ

公明 区民の施設利用ニーズの増大に対応し、非常勤職員を採用して休館日を減らすなど、区民サービスの向上を図れ。粕谷、千歳台、祖師谷地域には、区民利用施設が不足している。区有地利用計画の策定を急ぎ、施設整備を促進せよ。
企画部長 新たな施設運営のあり方を検討していきたい。今後とも、施設の増設に積極的に取り組んでいく。

社会 サンフランシスコ大地震を教訓とした、防災対策の一層の強化が重要だ。都市化の進展に対応し、被害想定を見直すとともに、防災意識の高揚を図れ。住民の安否情報の提供や、外国語による防災無線の実施も検討せよ。また、子ども科学館や水族館、博物館を設置することを要望する。
助役 生活環境部長 防災対策を更に充実するとともに、きめ細かな情報の収集、提供に努める。

民社・無党 環状8号線や玉川通り沿いの地域では、排気ガスによる大気汚染が深刻となっている。沿道住民の健康を守るため、早急に対策を講じよ。
助役 監視体制を強化するとともに、国や都へも対策の拡充を強く求めていく。

生活庁 切迫するゴミ処理問題に対応し、全庁をあげてゴミの減量に取り組むことが重要だ。資源再利用システムの確立に向け、拠点となるリサイクルセンターの設置に全力を注ぎ、清掃事業の移管をふまえ、きめ細かな分別収集を行うとともに、空きビンや空き缶の効率的な資源化を図るため、回収体制を整備せよ。区民の自発的なリサイクル運動への積極的な支援や、古紙回収業者への助成も図れ。焼却などの処理が困難なプラスチックの使用制限を検討せよ。有害廃棄物処理施設の建設にも取り組め。

助役 企画部長 産業振興対策室長 区民の理解と協力を得ながら、区の特長に合ったリサイクルシステムのあり方や、センターの基本的機能を検討していきたい。都や隣接区などと連携し、適切な手法を考えていく。今後とも、相談事業を拡充するなど、

地域のリサイクル活動を積極的に援助していきたい。



きめ細かな高齢者施策の展開を

自民 高齢者がいきいきと心豊かに生活できる環境の整備が重要だ。社会の様々な分野で活躍できるように、積極的な支援に努めよ。豊富な知識や人生経験を若い世代に伝えるため、世代間交流を促進せよ。寝たきりにさせないための施策も大切だ。寝たきりは予防できることを啓発するとともに、福祉、保健、医療の連携を強化し、リハビリ事業の充実を力づけ、平均寿命が延び、高齢者の年代の幅が広がっていきなかなかで各年齢層に応じた、体系的できめ細かな施策を展開せよ。
助役 高齢化対策室長 衛生部長 生きがい対策の充実に向け、多様な事業を展開していく。あらゆる機会をとらえ、交流の場の拡大に努める。保健医療計画を策定し、地域ケアシステムの確立による総合的な寝たきり予防策を講じていく。高齢者施設や各種サービスの充実など、的確な対応に努めたい。

公明 等々力児童館の建て替えにあたっては、隣接する敬老会館を併設せよ。敬老会館の跡地には、高齢者住宅を建設せよ。
婦人児童部長 併設を考えている。跡地の利用は、今後検討したい。

共産 保育要望の増大に対応し、区立保育園での0歳児保育の拡充を急げ。民間施設への支援も強化せよ。
婦人児童部長 園の改築計画にあわせ、定員枠を拡大したい。助成の拡充も考えたい。
自民 高齢化社会が進展するなか、新たな福祉行政のあり方が問われている。応分の負担により、高水準の福祉を保障する北欧諸国の制度を参考に、高齢者福祉の向上を図れ。福祉を支えるマンパワーの確保に向け、ボランティアの育成にも力を注ぎ、ボランティアの確保も講じていく。ボランティアの確保も講じていく。

助役 福祉部長 区民の負担増は避けながら、地域福祉の充実に努めていく。ボランティアの確保も講じていく。
民社・無党 玉川4丁目の都営住宅の建て替えにあたっては、地元要望をふまえ、児童館の併設に取り組め。
婦人児童部長 都に要望していきたい。



砧ファミリーパーク



住民要望をふまえた一子玉川の再開発を

民社・無党 二子玉川東地区の再開発事業の推進にあたっては、計画の内容を地元住民に広く周知せよ。区民施設の増設も図れ。また、風致地区に指定されている園分寺崖線の地域では、厳しい用途規制により、土地の有効活用が困難な状況だ。建ぺい率の緩和などを都に働きかけよ。

助役 都市整備部長 再開発計画案を策定し、周知に努めたい。自然博物館などの設置を検討している。見直しを要請していく。
自民 深刻化する駐車場不足の解消に向け、区内に担当組織を設置するなど、積極的に対策を講じよ。民間駐車場の実態把握に努めるとともに、建設費の助成などによる整備促進を図れ。

助役 駐車場整備方針を策定し、駐車場問題に取り組んでいきたい。
社会 快適な住環境を保全し、区民の生命や財産を保護するためにも、厳正かつ公平

土木部長 だれもが安心して快適に暮らせるまちづくりを進めていく。
自民 交通事故が急増するなか、事故防止対策の強化に全力をあげよ。事故原因を分析し、発生防止に努めるとともに、交通安全教育の徹底を図れ。事故を誘発する違法駐車等重点的な取り締まりや、指導にあたる住民組織の設置に取り組み。用賀駅前開発工事での交通安全対策にも万全を期せよ。
土木部長 交通事故の調査結果をもとに、対策を講じていく。年齢層に応じた、きめ細かな安全教育を一層進める。関係機関や住民と一体となって、違法駐車問題に取り組みたい。事業者へ交通安全対策の徹底を指導していく。



中学校給食での自校方式の導入を

共産 豊かな物質に囲まれて育った子どもたちの食に対する軽視が目立つ。食生活の大切さを身近に学べるよう、学校改革を機に、中学校の給食を自校方式に切り替えよ。小学生の放課後の安全確保や生活指導の充実に向け、校内に学童クラブを設置せよ。
婦人児童・学校教育部長 献立にきめ細かく配慮するなど、給食の充実に努めていく。児童館への併設を基本に、空き教室の活用も考えていきたい。

行革10番 学校施設の安全性の確保は重要な責務だが、区の調査では、一部の校舎の耐震性に問題があることが判明した。国の耐震基準が強化されてから10年近く経過した今日まで、機能性のみを追求し、校舎の補強を怠ってきたことは問題だ。区議会への調査結果の報告が遅れたことや、問題解決への取り組みが見られないことも遺憾だ。また、学校改革指針の検討報告では、デザインや設備の充実のみを重視し、安全性への配慮が欠如している。児童生徒が安心して学習できるように、校舎の改修に早急に取り組むとともに、区民の信頼に応える教育行政を推進せよ。

教育長 学校教育部長 施設整備は安全面を最優先に考え、法で定める基準に基づき、改修している。調査結果をもとに今後の方針をまとめるため、検討を重ねてきた。指針では、耐震性の向上にも配慮している。今後とも教育施設の充実に努めていく。

次回の区議会定例会は11月5日～30日の間 開かれる予定です

区長の区議会招集
あいさつ(要旨)

21世紀を展望し
新基本計画を一層推進

区民の皆さんの大きな力に支えられ、都と23区が協力して進めてきた特別区制度改革について、地方制度調査会が特別区の権限拡大などを盛り込んだ答申案をまとめました。都区合意事項にほぼ沿った内容であることを評価するとともに、名実ともに基礎的自治体として果たしていくべき責務を思慮すると、身を引き締まる思いです。

社会経済情勢の変化に対応し、後期実施計画の策定を進めております。今後とも効率的な行政運営に努め、活力ある福祉社会の実現に全力で取り組んでまいります。

これまで培ってきた「まちづくり」の成果をふまえ、来年には地域行政制度を発足させ、住民自治を一層推進していきます。地域行政の拠点となる北沢タウンホールや、鳥山事務所の庁舎建設も順調に進んでおります。

世田谷が活力ある大都市として機能していくため、都市の顔にふさわしい拠点の整備も不可欠です。三軒茶屋地区の再開発は、都知事から組合設立の認可も下り、事業の実現に全力を傾注してまいります。

仮称砧南区民センターの建設については、用地取得も完了し、地域に親しまれる施設となるよう、基本構想の策定を急ぎます。

働く女性の増加など、社会環境の変化に対応し、公立2園、私立2園の拠点方式による午後7時までの延長保育を10月から実施いたします。今後とも、未来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、保育環境の整備に努めてまいります。

小田急線の開かずの踏切は、区民生活に多大な影響を及ぼしています。この度、立体化の早期実現に向け、東京鉄道立体整備株式会社に出資することは妥当と判断しました。一日も早く事業化が図られるよう、国や都に働きかけるとともに、沿線地域のまちづくりにも積極的に取り組んでまいります。

請願のつぎ
新たに付託されたもの

企画総務委員会へ付託 6件

- 地域行政推進と選挙区設置に関する陳情
- 東名高速道路高架下駐車場設置に関する請願(多摩堤通り・多摩川土手間)
- 東名高速道路高架下駐車場設置に関する請願(大蔵4、5丁目)
- 東名高速道路高架下用地の駐車場、車庫への利用反対に関する請願
- 東名高速道路高架下用地のトラック等駐車場設置反対に関する陳情
- NTT有料化の認可取り消しを求める陳情

区民生活委員会へ付託 4件

- 公衆浴場に係る相続税・固定資産税の減免に関する陳情
- 玉川第4出張所及び中町敬老会館の建て替えを求める請願
- パチンコ店に関する請願(船橋1丁目)
- 米市場開放阻止に関する請願

福祉保健委員会へ付託 3件

- 鍼灸患者の健保救済を求める陳情
- 学童クラブ希望者全員入所と児童館増設を求める請願(芦花小学区域)
- 学童クラブ設置に関する請願(玉堤地域)

都市整備委員会へ付託 4件

- 北沢川緑道沿いの道路の指定に関する請願(池尻4丁目27)
- 仮称ジョイフル松陰神社前建設反対に関する陳情(上馬5丁目24)
- 若林5丁目ワンルームマンションに関する陳情(若林5丁目5)
- 仮称鈴木ビル建設計画に関する請願(世田谷1丁目11)

交通対策委員会へ付託 1件

- 小田急線を地下化し、第3セクターへの出資参加を取りやめることを求める請願

要望書

都立大学移転後の跡地利用に
関する要望書

東京都の「大規模土地利用検討委員会」は、来春、八王子市に移転する都立大学の跡地に、住宅建設と併せて清掃工場を建設する方針を打ち出し、調査に着手したことがおぼろげに伺われます。当区深沢2丁目目所在する同大学の理工学部キャンパスは、約4ヘクタールの貴重な都市空間であることから、この跡地の利用については、多くの区民が関心をもち、区当局も区民の要望をもとに利用計画案を策定し、要請してきたところがあります。

貴職におかれましては、地元区民の意向に沿った施設の建設に、特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

8月8日提出 9月17日議会報告
都知事あて

大規模小売店舗法に関する要望書

日米構造協議などで、大規模小売店舗法の改廃等が取り沙汰されております。国民経済の健全な発展を促進するには、大型店と中小小売業者の共存共栄を図りながら、消費者の利益も守っていくことが必要であります。そのためには、大規模小売店舗法の枠組を維持し、中小小売業者を健全に育成していくことが重要であります。

よって、世田谷区議会は、国に対して、左記事項を強く要望いたします。

- 一、中小小売業者存立の基盤を覆すような大規模小売店舗法の廃止を行わないこと。
- 二、予算、税制面において中小小売業者の立場に立った施策を強力に推進すること。

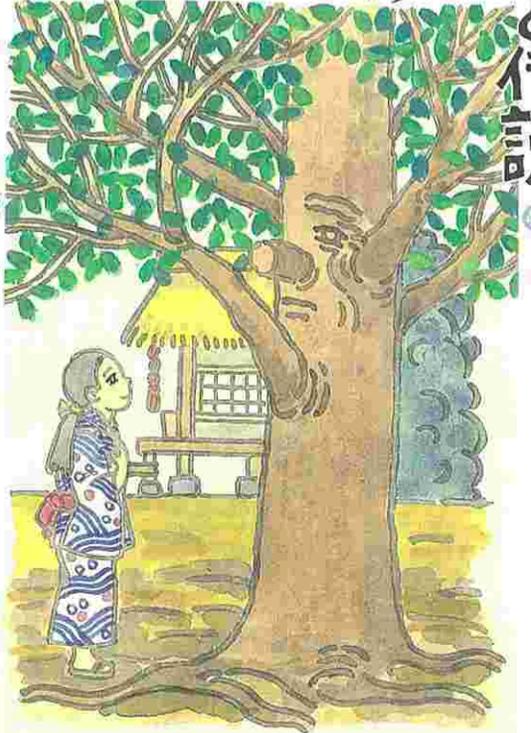
8月27日提出 9月17日議会報告
内閣総理・通商産業大臣あて



続・せたがやの民話と伝説

喜多見須賀神社の
棕の木は語る

その年の夏は、暑い日が続き、世田谷のあちこちの村では田んぼが干上がり、困り果てた村人たちは、大山の阿夫利神社まで雨乞いに出かけるようになりました。



文・桜井正信 絵・柳原雅子

多摩川や野川に近い喜多見村でさえ、田畑はすっかり乾いてしまいました。人は、村の鍛冶の氷川神社に集まって雨乞いをしました。お祈りどころか、ますます強い日差しが降り注ぎ、村の娘シズの家でも、今年の作柄はあきらめるほかないと、母と二人で話すのでした。シズが、亡き父に相談しようと、阿夫利神社の墓前にひざまずいたところ、須賀神社によくお参りしていた父のことを、ふと思ひ出しました。

「夕方には雨が降る。雷だから、外には出ないように……」
驚いたシズは、あたりを見回しましたが、だれもいません。シズは、もう一度祠に手を合わせました。

不思議なことにその言葉どおり、夕方にはどしゃ降りになり、村の人々は、ほっとしました。シズの母も、田畑がみるみる青さを増したのを見て、
「まさに、一雨千両とはこのことだ」と、つぶやくのでした。

雨があがるのを待って、シズは須賀神社に行きました。すると、棕の大木の方から、また、ささやく声がするのでした。

議員の辞職と会派構成の変更

森田キミ議員(社会)が、9月17日区議会議員を辞職しました。この結果、区議会の会派構成は次のとおりとなりました。

自公	23人
民社	11人
民主	7人
党	4人
党	4人
無所属	2人
生活クラブ	1人
世田谷行草	1人
計(欠員3人)	52人

議員の住所変更

- 五十畑孝司(自民) 経堂1丁目11-4
- 五十畑ヒル剛 五十畑ビル501
- 梅丘2丁目5-3
- 平塚 信子(公明) 〇(四)〇二四〇

特別区制度改革の
実現に向けて

世田谷区では、区民の皆さんと一体となって特別区制度改革の実現に取り組んでまいりました。去る9月20日、都区制度のあり方を検討してきた第22次地方制度調査会は、最終答申をまとめ、総理大臣に提出しました。

答申の主な内容は、特別区の性格を市町村と同様の基礎的自治体として位置づけ、一般廃棄物の収集、運搬の事務事業の移管など、区の権限拡大が盛り込まれたものとなっております。これまで長年積み重ねてきた自治権拡充運動の成果であり、評価されます。区議会といたしましては、この答申に基づいた制度改革が一日も早く実現されるよう、今後とも積極的に取り組んでまいります。

編集後記

ついた制度改革が一日も早く実現されるよう、今後とも積極的に取り組んでまいります。天高く馬肥ゆる秋……。収穫の季節を迎えました。食べる物がすべとおいしく感じられます。ダイエット中の方には、少し残酷な季節かもしれません。体重計など気にせず、来たるべき冬に備え、「実りの秋」を享受しましょう。おなかを満たしたら、次は芸術、アートです。世田谷美術館では12月9日(日)まで「大英博物館展」を開催しております。心の満腹を味わいに、ぜひお出かけ下さい。区議会に関するお問い合わせは、区議会事務局までお寄せ下さい。〇(四)一一一一